

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

今月もまた雨 (悦)

今年度は、上級生による下見会(第2火曜日)、本番観察会(第3火曜日)で実施していますが、この季節、2回天候に恵まれることは難しい。今回も前回と同じく、下見会は雨の合間に実施できましたが、本番は朝から雨でした。

前回の経験から、早々に当会事務所の座学に切り替え、お茶を飲みながら、下見会の写真を見ながら皆さんが知っていることを披露するなどワイワイと楽しく学習(?)できました。

雨が止んだ午後には、市民の森に移動し、下見会で観察したポイントを効率よく巡り、皆さん感動の時間が過ごせました。

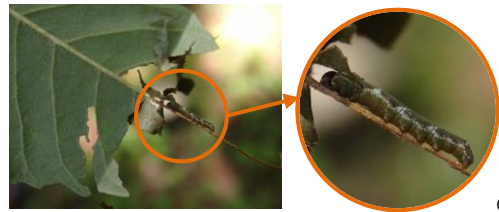


下見会風景

今日一番のトピック (悦)

アワブキの葉の先に葉脈だけが残る独特の食痕を探し、ジッと観察してみました。

いました！いました！スミナガシの幼虫です。



では、スミナガシとはどんな昆虫でしょう。この幼虫が成長して蝶となり飛翔するのは8月を待たねばなりません、特別に、過去に観察した写真をお見せしましょう。2014.8.6 撮影



みんなで短い時間探ただけで5頭は確認しました。これから、雨の日も、風の日もあり、天敵にも狙われ、前途は多難でしょうが、ガンバレ！

スミナガシ

● アワブキの葉先の葉脈に隠れて、5ミリにも満たないスミナガシの幼虫が必死に生きている姿に感動しました。

市民の森でこんな体験ができるとは!!! (秋)

● 午前は生憎の雨、でも座学での事前学習。午後の観察の視点を深めることができました。

印象深かったことは、小さな「すみながし」の幼虫を観察できたことです。あわぶきの葉の葉脈の先にいた小さな小さな幼虫をみたときは、とてもうれしく感動でした。

無事に成長し、八月の羽化するのが楽しみです。

それにしても、「すみながし」とは、粋な名前です。(克)

6月に開花していた花たち (悦)

雨にも負けず、いろんな花が咲いています。

● ジシバリ→ガイドブック 68

● キランソウ→75

● ムラサキサギゴケ→75

● ミヤコグサ→82

● アヤメ→83

● ガズミ→83

● スイカズラ→84

● エゴノキ→84

● ナワシロイチゴ→86

● サウギョウ→87

● ウツギ→88

● コアジサイ→89

● キバナノヤマオダマキ→89

● クモキリソウ→94

● ネジキ

その他、いろいろ

もうすぐ、咲きそう

● アワブキ→92

● ムラサキシキブ→93

実がなっているよ！

● ミヤマウグイスカグラ→67

● ヘビイチゴ→72

● ニガイチゴ→72

● モミジイチゴ→72

キバナノヤマオダマキ



モミジイチゴ



出会った昆虫 (馬)

● テングチョウさなぎ(14日)

● モンシロチョウ(14日)

● クロヒカゲ(14日)

● キマダラヒカゲ(14日)

● コチャバナセセリ♂(14日)

● ヒメキマダラセセリ♂(14,21日)

● ヘリグロチャバナセセリ♂(14日)

● ウラゴマダラシジミ(21日)



b

● クモガタヒョウモン♂(21日)

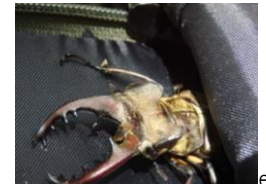


b

● アサギマダラ2齢幼虫(21日)

● スミナガシ幼虫(14,21日)

● ミヤマクワガタ♂(14日)



e

● ダビドサナエ♀(14日)



b

● エゾハルゼミ(14日)

● ニワハンミョウ(14日)

● ジョウカイボン(14日)

● マガリケムシヒキ(21日)

● キマフリ(21日)

● アワフキムシ(14日)

「市民の森 里山の風景」③

桑の木: 茅野市では大正から昭和期にかけ、岡谷の製糸工場へ供給するため、ほとんどの農家が養蚕をおこなっていたようです。畑地はもちろん山林も開墾し桑を植えたそうです。市民の森でも桑の木をよく見かけますが、そのなごりでしょうか。(矢)



我家にある蚕用の箕。この箕の上に刈ってきた桑の葉を敷き、蚕を飼った。

ミヤコグサの絨毯 →ガイドブック82



アワブキ→ガイドブック92 満開までもう少し



テングチョウの蛹



声を聴いた 鳥 (14日)

- ウグイス
- ホトギス
- イカル
- カケス
- シジュウカラ
- キビタキ
- ツツドリ
- センダイムシ

新発見は楽しい (望)

今回もたくさんの新しい発見がありました。

アサギマダラの幼虫、スミナガシの幼虫、加えて羽化したばかりのカゲロウ、それぞれの特徴を堪能しました。

また、クモキリソウ、サンコダケ、ミヤコグサ、キバツタ、ネジキの花のつき方等大変興味深いものでした。

早くも次回が楽しみです、もっと接写の技術を磨かないと。

締めは最高 (KK)

白く今が盛りの卵の花(うつぎ)、優しく薄紫に咲くこあじさいを見ながら進むと、なんと!!



幻の(私にとって)アサギマダラの幼虫。きれいな黄色と青を身にまとい、私たちをうるさそうに、身体をねじっていた。そして、頂上広場では、粹なスミナガシの幼虫がたくさん!



そして最後に、カゲロウ(うすば?)がはかなげにひっそりと葉陰に止まって休んでいた。雨で始まった観察日だったけど、締めは最高でした。

夏 (6月)

東コース 池⇄横河口 →20分 ←25分

せせらぎコース 鑄物師屋分岐⇄横河口 →35分 ←40分 ほぼ平坦

中央コース 1.5Km 山頂広場⇄池 →25分 ←35分 (標高差100m)

1.3Km 駐車場⇄山頂広場 →60分 ←45分 (標高差100m)

南コース 1.8Km 駐車場⇄池 →40分 ←50分 ほぼ平坦

下見会

● 下見会は楽しい。あらゆるものを見つけようと、キョロキョロ。この中から、何を皆さんに紹介できるのでしょうか。(SU)

● 雨上がりの市民の森は生き活きたとした初夏の自然の営みを見せてくれた。

既に咲き終わった花々は実を充実させ、ミヤマウグイスカグラやモミジイチゴの美味しい実を恵んでくれた。

今を盛りと咲く花も多く、キンギンボク、コアジサイ、エゴノキ、コナスビ、サワギキョウ、イワガラミなど、例年より少し早い花期を迎えていた。

市民の森を歩くといつも発見!そしてあれ?見つけられない?と不思議もあって楽しい。(mitty)

コアジサイ



ウツギ



ガマズミ



香りもエキゾチック (そ)

前回同様、午前中の座学を参考にしながらの午後の観察会はとてもよかったです。

アサギマダラの幼虫は、本当にCの字にイケマの葉をくり貫いたように食べるのですね!

それから、スミナガシの飛び姿に是非会ってみたいと思いました。

そして、何と言っても、ステキなネジキの花を見ることができて嬉しかったです。香りもエキゾチックでした。

来月も楽しみにしています。